

第 2 回 宇部市新庁舎建設基本設計協議会 ～会議録～

日 時	平成 30 年 2 月 19 日（月）14:00～16:30	
場 所	宇部市役所 4 階 第 2 委員会室	
出席者	【協議会委員】	内田会長、脇副会長、安部委員、熊谷委員、曾我委員、古松委員、近藤委員（欠席）徳原委員、三浦委員
	【宇部市】	（都市整備部） 白石部長、坂本次長 （まちなか再生推進課） 富田課長、上原主幹、三戸補佐、深川係長、平岡主任、福重

1. 協議事項

(1) パブリックコメントの結果について【資料 1】

【 市 】 別添資料に基づき説明

～質疑応答～（以下、要約）

【委員】	具体的に基本設計に取り入れた意見はあるか。
【 市 】	現在、出された意見について、取り入れるかどうかも含め、市の考え方を整理しているところである。後日、ホームページ等で市民に公表する。
【副会長】	現時点で、取り入れるべきと思われる適切な指摘があれば、教えてほしい。
【 市 】	<p>まず、防災計画について「津波対策についても十分に検討すべき」との意見があったが、どの程度の高さまで津波がくる可能性があるか等、検討を進めているところである。また、意見にあるとおり、数値でしっかり明記していこうと考えている。</p> <p>環境計画は、「自然エネルギーの活用を」との意見があるが、新庁舎の一次エネルギー消費量を、一般的なエコな建物の 2 分の 1 まで落とす計画である。</p> <p>これは、建物の中で全てのエネルギーをまかなう『ZEB』の準備段階である『ZEB Ready』の状態にすることを意味する。この取組は、県下でも宇部市が初めてであり、全国でもほとんどやっていないことだが、山口大学と協働で取り組んでいこうと考えている。</p> <p>その他、「立体駐車場は狭い」という意見や「平坦な駐車場がほしい」という意見があるため、多目的広場を 70 台程度の平面駐車場として利用できる仕様とするように計画している。</p>
【会長】	立体駐車場というと、近くにある井筒屋の立体駐車場を想像してしまうが、上り下りしやすいものにするのをしっかり伝える必要がある。
【 市 】	立体駐車場は、フジグラン宇部の立体駐車場を思い浮かべていただくとよい。運転が難しくなく、スムーズに出入りできる立体駐車場にする計画である。
【委員】	2 期庁舎に関しての意見は、6 つのうち 4 つがネガティブな意見なので、2 期庁舎についてもう少し丁寧に説明する必要があるのではないかと。

【市】	<p>2期庁舎をつくる理由としては、常盤通りに庁舎の顔出しをしたいということが一つある。また、これからの庁舎は、単なる執務スペースではなく、市民が集いさまざまな活動を行う、まちのにぎわいの拠点にしたいと考えている。</p> <p>1期庁舎は執務スペースとなるが、執務スペースに用事がない方でも2期庁舎に来て様々な活動をしてもらいたい。また集まった人が2期庁舎から周辺商店街等に滲み出るような計画としたいので周辺整備も合わせて考えていく。</p> <p>2期庁舎2階については、市の業務に使う会議室5部屋を計画しているため、現時点では、1階は市民がメインで使うスペース、2階は職員がメインで使う会議室と考えている。</p> <p>また、災害時の一時的な避難場所としても考えており、500人程度収容できるので、近隣の方々が逃げてこられた際に対応できるし、高潮が発生した場合には、2期庁舎3階に逃げてもらえることもできる。</p> <p>さらに、大規模な災害が起きた時には、自衛隊やボランティアの方々が待機する場所としても使用することを考えている。</p> <p>2期庁舎はいろいろな使い方ができるが、通常は市民に活用していただき、有事の際には、市が防災機能として使用する場所にしたい。</p>
【会長】	<p>配置計画では、バス停や公共交通機関との関係に関心が高いと見受けられるので、しっかりした回答をお願いしたい。</p>
【市】	<p>バスに関しては、大きな市営バスは車寄せに入れませんが、コミュニティバスであれば十分回転できる広さがある。</p> <p>バス停の設置については、交通局との協議が必要なので、新庁舎完成までには詰めていきたい。</p>
【会長】	<p>「仮設庁舎を利用しない」計画ということ、もう少し市民に理解してもらえそうな記述を入れるとよい。配置計画については、パズルをはめ込むような努力をしていることを理解してもらえるとよい。</p>

(2) 構造計画について【資料2】

【市】 別添資料に基づき説明

～質疑応答～（以下、要約）

【委員】	<p>市内業者への発注機会も考慮し、2期庁舎は耐震構造となっているが、その際にエキスパンション・ジョイント（※以下、EXP）がなぜ2か所必要なのか。廊下とつながるのは東側だけではないか。</p>
【市】	<p>2期を耐震とした場合、1期庁舎と2期庁舎で揺れ方が異なるため、建物がぶつからないように、出入りする部分にはEXPが必要だと考えている。</p>
【委員】	<p>回廊の西側と1期庁舎を出入りさせるのか。セキュリティ上、1期庁舎と2期庁舎の出入りは東側通路だけかと思っていた。</p>
【市】	<p>メイン（一般用）の通路は東側だが、緊急時の出入口が西側（3階）にもあった方がよいと考えている。</p>
【委員】	<p>出入口の追加については、費用対効果を十分検討してほしい。</p> <p>次に、免震装置で採用を選択されている鉛プラグ入り積層ゴムだが、大地震</p>

	<p>後に鉛の状態が確認できなくても大丈夫なのか。鉛がその後使えるかどうかはどのように判断するのか。</p> <p>我々はそれを議論する能力はもっていないが、そこは専門家の方でしっかり確認してほしい。</p>
【委員】	免震装置は、縦揺れについては耐性がないのか。
【市】	縦揺れへの免震装置というものはない。通常の柱と同じと考えてほしい。
【会長】	<p>構造計画については、「免震か耐震か」がずっと懸案事項だった。</p> <p>比較表をみると、1期庁舎については免震が必要という判断、2期庁舎については、重視するものにより免震にするか耐震にするかの判断が分かれるところだと言える。</p> <p>評価については、全体免震構造と1期庁舎免震構造+2期庁舎耐震構造が同点となっているため、このことについて委員のみなさんの意見を伺いたい。</p>
【市】	<p>《補足として以下のとおり説明》</p> <p>(1)アドバイザーからの意見：</p> <p>評価の視点「安全性・経済性・快適性・地域性」については安全性に重みをおき判断するのがベストだと考える。従って全体免震構造がよいが、地域特性や市の考え方もあり、耐震構造建物が倒壊するわけではないので、最終的には市で判断してもらえばよい。</p> <p>(2)市内業者との意見交換会概要：</p> <p>建築一式工事Aランクに登録された23社に案内のうえ2月8日に開催し、13社が参加。13社とも新庁舎建設工事受注に関心があるとのことだった。</p> <p>免震構造にした場合は、どういう発注方式がよいか聞いたところ、地元業者だけでやりたいという業者もいたが、免震構造であれば大手と組みたいという意見をかなりいただいた。</p> <p>さらに、免震構造とした場合には免震部建築施工管理技術者の配置が必要であることと、その資格試験は年1回行われ、過去5年間の合格率は約89%とハードルが高くないことを伝えたが、多くの業者は資格の取得まではしないという様子だった。市内業者で施工する場合、大手に下請けとして入ってもらう方法と大手としっかりJVを組んでももらう方法がある。</p> <p>市内業者全てが絶対に市内だけでやりたいという考えではなかった。</p>
【会長】	<p>他県で関わった事例だが、通常だと市内業者が入れないようなビックプロジェクトにJVとして加わることでスキルアップを図り、地元の施工会社が力をつけるという事例も多い。</p> <p>50年に1回しかない機会なので、大手の技術を移入するという意味でJVとして加わるのが、市内業者の底上げにつながっていくということもある。</p>
【委員】	免震構造とするのは、災害対策本部を設置する建物だからという解釈だと思っているので、1期庁舎を免震構造とするのは仕方ないと思うが、2期庁舎については、一部に会議室等もあるものの、主に市民向けのサービス棟という観点から耐震構造でよいと考える。2期庁舎まで免震構造にすると、これから市が建てる建物は全て免震構造にしなければならなくなってしまうということ

	肝に銘じてほしい。
【市】	事務局としては、1期庁舎を免震構造、2期庁舎を耐震構造とすることを基本に考えているが、この協議会の意見や庁内協議会の意見を踏まえ、最終的に決定したいと考えている。
【委員】	構造的には、EXP でつないだとしても、ぶつかったり、損傷したりする可能性がゼロではないため、同じような動きをとる同じ構造が理想だと思うし、そのメリットが全体事業費の約1%の1.2億円で実現できるならば、全体免震構造で安全性をとった方がよいのではないかと思う。
【委員】	EXP の構造は分からないが、異種構造をつなげる EXP で衝撃を逃がすという構造よりも、極端に言えば1期庁舎と2期庁舎は別の建物として、雨除けや風よけの意味の大きな囲いさえすればよい。EXP という固定的なクッションでなくても、私は十分可能だと考えるので、そこは設計者の技術、センスだと思う。
【会長】	2棟を離して建てたとしても、やはり違う揺れをすることで渡すわけなので、結局つなぐところで、同じような工夫が必要になる。
【委員】	EXP というのは異種構造をつないで吸収するという考えだが、もう一つの考え方として、例えば山口大学医学部の病院の渡り廊下は、2棟を完全につなぐ廊下で固定するのではなくて、風よけを間においている。それでも十分に機能を果たしているのだから、そこまでしっかり固定する EXP は必要ないのではないかと思っている。
【委員】	私は構造に関して専門的な知識はないので何とも言えないが、可能な限りの安全性の担保とコストの観点から踏まえ、免震構造と耐震構造で計画できるのであれば、それでよいと思う。
【委員】	私も同意見である。安全・安心は、まちの大きな利益であり、対外的に PR できる部分でもある。また、市民が親しめるという観点からも、安全性は重要なポイントになると思う。安全性とコストのバランスをとって決定してもらえばよい。
【委員】	1期庁舎は災害対策本部になるため、間違いなく免震構造がよいと思うが、2期庁舎は、安全を置き去りにするわけではないが、そもそも必要かという意見もある中で、別棟と考えれば免震構造にこだわる必要はないし、市内業者からの参加希望があるなら、耐震構造の方が対応しやすいと思う。
【副会長】	ある市民活動団体の会合に参加したが、パブコメの意見でもあったように、2期庁舎は一体何をやるスペースか分からないと言われていた。 目的が見えないのに安全性を考慮し免震構造にするのは、市民の意見を聞く限り疑問である。 全体免震構造が一番よいが、2期庁舎が免震構造と耐震構造でコストにこれだけ差があると、市民感情からすると「本当にこれほどの安全性を確保する必要があるのか」という声は出てくる。それを考えると、耐震構造でも耐震性はあるので、説得力は十分あると思う。1期庁舎は免震構造の必要性があるが、2期庁舎はあえて免震構造とする必要はないと考える。
【会長】	2期庁舎が不要ではないかという意見が出ているのは、ずっと関わっている

	<p>私からすると非常に悲しい話だが、2期庁舎がなぜ必要なのかを説明し、市民から2期庁舎が必要だという話が出てこないと本当に使われる空間にならないと確認できた。市役所機能や市民活動のあり方がどんどん変わっている中で、事務手続きだけではない、他に誇れる新しい庁舎ができるのではないかという期待を個人的にはしている。市民に分かりやすい言葉でアピールするというのが、足りないのかなと思う。</p>
【副会長】	<p>その会合で配布された資料が、ワークショップ後に市民向けに公開された資料だったが、2期庁舎のスペースに、おおよそ思いつく役割・機能が全部落とし込んであった。それを見ると一体何をするとところなのか分からず、かえって誤解を招いていた。色々なことに使えることを示した資料だったが、見る人によっては、多目的が無目的ではないかという印象を受けたようであった。</p> <p>建設まで少なくとも5年はかかる。今まで議論を積み重ねてきて「市民活動のスペースは必要だ」という意見が確かにあったのだから、具体的にどうしていくかをそれまでに検討していく必要がある。</p>
【会長】	<p>宇部市のまちなかには、「あそこで待ち合わせをしようね」というような、市のへそとなる場所や市のビジターセンター的な機能が全くないので、市役所の中にそんなスペースができると色々なメリットがあると強く感じている。</p>
【副会長】	<p>ある意味、今までの宇部市にそういう場所がなかったので、皆使い方を知らないということもあるかもしれない。</p>
【委員】	<p>例えば、《市役所のロビーにしゃれた喫茶店があるから待ち合わせをしようかと人が集まる、その横には市民活動をしている色々な団体がいて、その活動を支える市の部署もそこに出張っている》というような、色々な意味で豊かに使えるような場所だと思う。それを、これからどう作っていくかが大切である。</p>
【委員】	<p>2期庁舎に喫茶スペースが入る場合は、民間が経営することになると思うが、建屋コストの一部が賃貸料のベースになるのではないかと。だとすると、2期庁舎の建築コストをできるだけ抑えることが、将来の民間経営の持続にも寄与すると言える。本来はそこまで経費を考えて設計をしてほしい。</p> <p>「それならやりたい」と事業者が競争して手を上げるような素晴らしさと安さが必要。出来たはいいが、誰も手を上げず閑古鳥が鳴いてはいけなないので、ぜひ工夫をお願いしたい。</p>
【会長】	<p>できるだけ早い段階で企業を募りながら、協議して方向が決まっていくのが理想である。</p>
【委員】	<p>本当は、3階の食堂も1階にあると良い。民業を圧迫する可能性もあるが、市民の食堂として、1階のガラス張りの部分に降りてくれば全然イメージが違おうと思う。</p>
【会長】	<p>3階の食堂は、その基本的な設^{しら}えを固めた上で公募するのか。</p>
【市】	<p>基本的には、今の食堂と同じ規模を考えており、現状程度のもので作って公募する形になるかと思う。公募の仕方はまだ決めていないが、2期庁舎1階部分も合わせた一体的な公募かもしれないし、食堂だけかもしれない。その体系を早急に決める必要があると考えている。</p>

【会長】	1期庁舎、2期庁舎が免震構造か耐震構造かは、おおむね市の方針に対して、委員からの大きな反対はないということで良いかと思う。コスト面と技術面から総合的に判断いただきたい。
------	--

(3) 電気・機械設備計画について【資料3】

【市】 別添資料に基づき説明

～質疑応答～（以下、要約）

【委員】	自家用発電機について、ガスタービンはディーゼルに比べて煙が出ないということだが、燃料はガスではなくオイルということか。
【市】	オイルを気化して使用する。
【委員】	中圧ガスのコージェネレーションを非常時に活用との話だが、地震時に中圧ガスを使えるという担保がとれるのか。配管が壊れたりすることを想定して何日間か分のガスホルダーがいるのではないか。
【市】	東日本や熊本の震災でも中圧ガスが途絶することが少なかったことと、山陽小野田市にあるガスタンクも耐震化等がされていることを調査している。 熊本の震災では、配管の損傷は少なく、損傷を受けたところも電力等に比べて復旧が一番早かったという報告も受けているので、通常の電力よりも安全上有利と考えている。 電力途絶時のために非常用発電機も備えるが、備蓄燃料の3日分を使い切っても電力が復旧しなかったときのためBCP対策として必要と考えている。
【委員】	電力使用量が1,800KVAということだが、BCPの時には何KVA使えるのか。自家発電からの電力やコージェネからの電力を説明されるときに、数値を記載した方が分かりやすい。
【市】	BCP対策は、フロア毎に最重要エリア、重要エリアのようにクラス分けして整理していこうと考えていたが、ご指摘いただいた電力についても検討したい。
【会長】	空調の熱源計画についての説明はあったが、空調システムはどういうユニットで考えているのか。
【市】	基本的には、床から吹き出す空調を考えている。会議室等の個別対応が必要などところは、空冷ヒートポンプによる個別空調を考えていく。
【委員】	水素の活用はまだ早いと思う。高圧ガスの資格も必要になる。
【市】	水素ステーションを作るとなると資格が必要になるが、資格の要らない程度の小さな規模を考えている。
【副会長】	環境都市宇部として未来型先導庁舎を発信できるとあるが、非常用に水素を設置したからといって、それだけで情報発信のネタになるのか。
【市】	宇部市が水素を活用するとなると、私が知る限りでは横浜市に次いで、全国2番目となるので記載したが、ご指摘のとおり、イニシャルコストが高いこととBCPでしか使えないため、採用が難しいと考えている。
【副会長】	たとえ水素を活用している都市が、横浜市と宇部市だけだったとしても、どうやってアピールするのか。非常用だけのために、これだけのお金がかかると

	説明しても、理解されないと思う。
【会長】	かなり技術的な話なので、適格な判断に基づいて決めてもらえばよいが、市の基本姿勢の根幹に関わることは大事にし、外にアピールしていくという視点でも考えてもらえばよい。それに加え、イニシャルコストとランニングコストがどこで帳尻が合うのかを検討いただければよい。

(4) ユニバーサルデザイン計画について【資料4】

【市】 別添資料に基づき説明

～質疑応答～（以下、要約）

【会長】	敷地には元々かなりの段差があり、立体駐車場の方に行くに従って下がっている。その段差解消はどのように考えているのか。
【市】	1期庁舎側の敷地を上げて、2期庁舎とフラットにする。道路との段差は、駐輪場や市長車置き場とする。
【会長】	バリアフリーの視点で見ると、かなり難しそうだと思う。建物と歩道や車道との段差はどこで解消されるのか。平面図しかないが、説明と図面の印象が違うので、ずっと気になっている。段差の解消がユニバーサルデザインの一番基本のところだと思うので、しっかり検討してほしい。
【市】	指摘いただいたとおり、どういう計画か分かるようにしたい。
【会長】	一番気になっているところなので、しっかり検討してほしい。 サイン計画では、施設全体の案内で、来庁者が、自分がどこに行けばよいのか、なかなか分からないという問題がある。 また、視覚障害者に対するユニバーサルデザインとして音声案内をどう組み合わせるか今話題になっているので、検討いただきたい。
【委員】	憩いの広場と真締川公園との間の道路（真締川東通り線）は、どうなるのか。
【市】	市としては、廃道したいと考えているが、住民の方々と話し合いながら検討していく。今の時点では、決定していない。
【委員】	補聴器を聞こえやすくするヒアリングループ（磁気ループ）は、新庁舎に導入するのか。
【市】	検討する。

(5) 概算事業費について【資料5】

【市】 別添資料に基づき説明

～質疑応答～（以下、要約）

【委員】	概算事業費に含まれない什器やシステムの費用はどれくらいなのか。
【市】	あくまでも他都市の事例からの試算だが、引越し費用も含めて約6億円。電算システムはまだ試算していない。
【会長】	備品は全て入れ替える予定か。

【市】	<p>使えるものは使うという方針もあるが、まだ決めていない。全部入れ替えるとする約6億円となる。電算システムについては、現在のものをそのまま使うか、新しいものを使うか検討していく必要がある。また、防災関係のシステムもあるのでこれから整理していく。</p>
【会長】	<p>解体工事費が当初から上がっているのはなぜか。</p>
【市】	<p>昨年国から、外壁の吹付骨材のなかにアスベストが含有している可能性についての通達が出ており、建設当時の吹付材の中にもアスベストを使っている可能性が出てきたため、その撤去については、鉄骨の被覆等と同様のアスベスト撤去方法を採用することとした。調査は30年度に実施する。</p>
【委員】	<p>先週、議会の特別委員会があったと聞いているが、何か意見は出たか。</p>
【市】	<p>今回のテーマでもあった免震構造・耐震構造については、1期庁舎は免震構造、2期庁舎は耐震構造とする案を説明したところ、市内企業が入れる余地があるので2期庁舎は耐震構造としてもらいたいとの意見と、2期庁舎の使い方が見えないため、しっかり整理してほしいという意見をいただいた。</p> <p>その他、真締川東通り線をどうするのかという質問や新庁舎には最終的にどの部署が入るのかという質問があった。</p> <p>入居部署については、市民サービスを最優先に考えて、これから検討していく旨を答えた。港町庁舎を活用していくことを基本計画で打ち出しており、新庁舎の規模もそれに基づいた規模となっているため、教育委員会が新庁舎に入れば、教育委員会相当の部署が外に出ていくことになる。なるべく市民サービスに影響が出ないように部署を決めていく。</p> <p>環境計画では、イニシャルコストとランニングコストについて、しっかり明記してほしいと言われたため、3月末にはLCC(ライフサイクルコスト)を概略で出していこうと考えている。</p> <p>平面駐車場についての質問もあり、約70台とめられる計画になっていることを説明した。駐車マスの所々に木を植え、駐車場としても使えるが緑が多いものにもしていこうと考えている。</p>
【副会長】	<p>駐車場は有料か無料か。</p>
【市】	<p>まだ決めていないが、今の市駐車場と同じような使い方になるかと思う。</p>
【副会長】	<p>今日、おそらく確定申告のため税務署への来庁者が多いからと思うが、駐車場がいっぱいで駐車できなかった。何かで集中したとき、ゲートがあると並んで時間がすごくかかるので、不便だと感じた。</p>
【市】	<p>昨年度、確定申告の時期に駐車場の利用がどれくらいあるか調査を行い、必要台数を算出しているが、ゲートが一つだと機械トラブル等があった時に渋滞してしまうので、検討する必要があると考えている。</p>
【副会長】	<p>新庁舎のトイレは、和式か洋式か。</p>
【市】	<p>基本的には洋式と考えているが、和式も必要だという声もあるので、一部に和式を配置することも検討していく。</p>
【会長】	<p>建物の空間的なビジュアル情報が全くないが、基本設計業務の中にどの程度</p>

	入っているのか。例えば、執務空間がコンクリートの打ちっぱなしで、空間的な雰囲気がどうなるのか分からない。基本設計段階ということもあるが、パース等はどの程度作成するのか。
【市】	パースやVRも業務に入っているので、基本設計でも内装等は分かるようにしていきたい。 天井はコンクリートの打ちっぱなしとなり、所々に吸音材を入れる必要があるが、震災時に天井が落ちる被害が起きているため、それを防止するため天井レスとし、空調については床からの吹き出し空調を考えている。
【会長】	組織改編による模様替えやカウンターの対応を考える際には、全部床に負荷がかかるので、きちんと調整すべきだと思う。
【市】	執務スペースのレイアウトについては、フレキシブルに対応出来るように机の島を固定して、人員配置を変えていくユニバーサルプランを導入する。 まずはグループアドレスから入り、将来的にはフリーアドレスに移行することも検討していく。
【会長】	ビジュアル情報は、まとまった段階で公開があるのか。
【市】	基本設計がまとまった段階で、もう一度協議会を開催したいと考えており、その中でビジュアル等も見てもらえれば、雰囲気が分かると思う。
【副会長】	基本設計がまとまった時に、その結果をどのように市民に知らせるかが重要。模型も良いが、例えば、今ならVRのようなものを構築して、市民に見てもらうのはどうか。立体駐車場の工事が動き出すと、ものすごく関心が高くなってくると思うが、今は噂の段階で間違った情報が独り歩きしている部分がある。誤解を招いてしまうので、情報公開を徹底してもらいたい。

3. その他

【市】 今後のスケジュールについて説明

～質疑応答～（以下、要約）

【会長】	A3 見開きくらいで、「基本設計がまとまりました」というようなパンフレットは作らないのか。ホームページで情報公開していくのも良いが、日常的に見る習慣がない人も、ふれあいセンター等にパンフレットが置いてあれば、新庁舎の情報が分かる。
【市】	パンフレットを作成する予定だが、部数は多くない。広報にも掲載していく予定である。
【会長】	広報も良いが、単独で持ち歩けるようなものがあると良い。
【副会長】	市の会議等に出席するとPR資料がよく入っているが、その中に基本設計のパンフレットも是非加えるべき。